

権八伊達姿

帝キネ 時代映畫

原作並脚色者 三村伸太郎
監督者 山下秀一
撮影者 池田專太郎
——主要役割——



寫 一権八伊達姿—帝キネ山下秀一作品。
真 右より市川玉太郎と明石緑郎。

- 平井権八 市川玉太郎
- 小紫 鈴木澄子
- 幡隨院長兵衛 明石緑郎
- 本庄助七 吉頂寺光
- 本庄助八 大谷卓二
- お兼 浅野英節
- 本庄助太夫 片岡童十郎
- 平井正左衛門 大野三郎
- 東間重兵衛 林誠太郎
- 田部民部 三笠加壽江
- お雪 中村獅歌
- 魚屋久六 中村獅歌

解説—山下秀一氏の「劍客龍虎」に次ぐ作品である。

略筋—因州鳥取の家の中平井権八は武門の意地から本庄助八を斬り江戸へ落ち延びた。そして花川戸の親分幡隨院長兵衛に救はれ、お尋ね者と知りつゝ、氣持よく阿部豊後の徒士衆に世話された。朱に交はればのたさへ、権八もいつか徒士衆並に金に詰まれば辻斬もやる不真の徒に墮ちた。彼の美貌は吉原三浦屋の金盛小紫と深い契を結んだ。そして益々金の工面に辻斬を重ねる様になつた。その中の一人が隣家隣の家の娘お雪の父であつた。父を殺されたお雪は葬式も出来ず、心にもない結婚を約し結納金を貰つてその費用に當てやうとした。それを知つて同情した権八は、金を拵へるため又辻斬りをしたが、遂に捕吏に發見され、大亂闘が開始された。漸く逃げのびた彼はお雪に金を渡したが其時、國許で斬つた本庄助八の一子助七が江戸へ来てゐる事を知り、再び一目散に彼の許に馳けつけ、前髪みづ／＼しい権八は、男らしく助七に討たれてやつたのであつた。